

## 令和5年度第5回合同教育研究会議議事概要

### 1 開催日時

令和5年9月13日 13時00分～13時45分

### 2 場所

本部棟3階 特別会議室

### 3 出席者

鈴木学長兼副学長事務取扱、亀田副学長兼研究・地域連携本部長、宮野副学長兼事務局長、猪股教育支援本部長兼高等教育推進センター長職務代理者兼教学IRセンター長職務代理者、三上学生支援本部長、橋本企画本部長、熊本国際教育研究部長、福島看護学部長、高橋社会福祉学部長、高田ソフトウェア情報学部長、高嶋総合政策学部長、川崎盛岡短期大学部長、松田宮古短期大学部長、長谷川委員（学外委員：製品評価技術基盤機構理事長※Web参加）、宮本委員（学外委員：岩手大学人文社会科学部教授）

#### [事務局]

新沼事務局次長兼総務室長、関屋教育支援室長、高田学生支援室長、佐藤企画室長、長谷川宮古事務局長、斎藤研究・地域連携課長、西川総務財務課長、八木主幹、伊藤主任主査

### 4 会議の概要

#### 議事録確認

前回会議7月12日の議事録（議事概要）については、原案のとおり了承された。

#### 審議事項

なし

#### 協議事項

なし

#### 報告事項（口頭報告）

#### (1) 令和4事業年度の業務の実績に関する岩手県地方独立行政法人評価委員会の評価結果について

橋本大学評価委員会副委員長から、資料に基づき説明があった。

#### (2) 第三期中期目標に係る業務の実績に関する岩手県地方独立行政法人評価委員会の評価報告書について

橋本大学評価委員会副委員長から、資料に基づき説明があった。10月の合同教育研究会議後に中期計画策定委員会を開催し、B評価項目の第四期中期計画への反映状況について確認する予定である旨、補足説明があった。

委員から、令和4事業年度及び第三期中期目標期間の県評価委員会からの評価が自己評価と一致していることについて、大学執行部による県側への丁寧な説明

の成果であること、大学の努力を自治体が理解しているということを学内の教職員が知ることは、教職員のモチベーションの維持につながると考えるとの発言があった。

(3) 文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」の認定結果について

猪股高等教育推進センター長職務代理者から、資料に基づき説明があった。

(4) 国際交流推進室の業務開始について

関屋教育支援室長から、資料に基づき説明があった。

(5) 令和6年度サバティカル研修者選考委員会結果について

猪股教育支援本部長から、資料に基づき説明があった。

(6) 令和6年度大学入学共通テストに係る試験監督者の選出について

猪股教育支援本部長から、資料に基づき説明があった。

(7) 岩手県立大学企業学群キックオフ講演会の開催結果について

亀田研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。滝沢IPUイノベーションセンター・パーク入居企業との連携強化に向け、入居企業と学部長との名刺交換会を実施済みであるとの補足説明があった。

(8) 岩手県立大学データサイエンス・リカレント講座の実施について

亀田研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。9月11日・12日に行われた基本科目には、オンラインも含めて150人程度の出席があった旨、補足説明があった。

学長から、県内でDXを広く推進していくために、まずは講座の録画映像を配信し、市町村の体制づくりが進んだら出前講義を行っていくのがよいこと、部分的なDX導入では業務がより複雑化してしまうことから、全体的に推進していく必要があること、DXに対して否定的な市町村もあることから、いわてDX推進連携会議において各市町村を訪問し、DXについて説明をする予定であるとの発言があった。

(9) 令和5年度安全保障輸出管理研修会の開催について

亀田研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。海外出張だけでなく、留学生の受入れにも関係する内容であるとの補足説明があった。

学長から、ケースごとのマニュアルを作成し、対応しやすいように進めてほしいとの発言があった。

(10) 研究者情報システムの入力・更新について

亀田研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。新たなデータベースの構築に向けて検討を進めているが、構築までは現行のシステムにしっかり入力してほしいとの補足説明があった。

(11) 令和5年度広報研修会の開催について

橋本企画本部長から、資料に基づき説明があった。

- (12) 物価高の影響等を受ける本学学生等の「学生食堂利用負担軽減事業」の実施について  
新沼事務局次長兼総務室長から、資料に基づき説明があった。

#### 報告事項（資料報告）

- (1) オハイオ大学、中部大学及び本庄国際奨学財団との復興防災学習プログラムの実施について
- (2) 令和5年度全学FD・SDプログラム第1回高等教育セミナー開催結果について
- (3) 令和5年度秋季学位記授与式実施概要
- (4) 令和5年度秋季入学式実施要領
- (5) 令和5年度第2回学務調整会議の開催概要について
- (6) 令和5年度前期「数学学習相談室」実施報告について
- (7) 令和5年度前期「English Time」の開催結果について
- (8) 令和6年度編入学試験出願状況について
- (9) 大学院入学者選抜（社会福祉学研究科科学内推薦、ソフトウェア情報学研究科第1次募集）選抜結果について
- (10) 大学院選抜（看護学研究科、社会福祉学研究科、総合政策研究科第1次募集）出願状況について
- (11) 2023年いわて高校生学び応援プロジェクト『探究活動・課題研究コンクール』審査結果について
- (12) 令和5年度第1回学生支援委員会の開催結果について
- (13) 令和5年度全学競争研究費の採択結果について
- (14) 令和5年度公開講座・地区講座の開催について
- (15) 令和5年度Rubyプログラミング教室の開催結果について
- (16) 国の修学支援新制度に係る機関要件の更新確認結果について
- (17) 公立大学法人岩手県立大学規程集データベースシステムの導入について
- (18) 令和5年度第1回安否確認システム報告訓練の実施結果について
- (19) シェイクアウト訓練、及び第2回安否確認システム報告訓練の実施について
- (20) 「令和5年度第3回職員衛生委員会」の結果について
- (21) 「令和5年度第4回職員衛生委員会」の結果について

#### (19)について

新沼事務局次長兼総務室長から、シェイクアウト訓練は授業時間中の最後の5分間に行うため、協力をよろしくお願ひするとの発言があった。

#### その他

委員から、科研費の申請率や採択率の向上に関し、高額な研究費を必要としない研究者のモチベーションの向上について、次のとおり発言があった。

- ・ 高額な研究費を必要としない研究を行っている研究者は、申請率・採択率の向上だけを目的として示されると、自身の研究費獲得のためではなく、大学に管理命令されていると感じてしまい、モチベーションが下がってしまうこと。
- ・ 一方、申請して不採択となった場合には、研究費獲得のことよりも、研究のストーリー性や広がり審査員に認めてもらえるように研究計画書でアピールすることができなかったショックが、次へのモチベーション向上につながる場合があること。